

石神中学校だより19号

発行日：令和4年2月 4日

2021重点目標〈課題を持って自ら学び、夢の実現のためにやり抜く生徒〉 文責：校長 佐藤恭司

～目的意識のある生活と進路選択～

2月に入り、卒業に向けた文集作成や同窓会入会式、卒業式の実施計画案が出されると、今年度も終わりに近づいて来た感じがします。3年生は、まさに卒業後の進路選択に向けたラストスパートといったところでしょうか。昨年度の福島県の高校進学率は98.52%で、中学校卒業後に就職する生徒は少なくなりました。高校説明会では、各高校側も工夫し、中学生が興味関心を持てるように、特色あるカリキュラムや校風、高体連・文芸の実績、進学先、就職先など、映像を取り入れた説明・紹介が見られています。以前に、県立高校の校長先生と話す機会がありました。生徒が、高校で学ぶ目的を持っていると持っていないとでは、高校生活が全く変わるということです。資格取得や大学・専門学校への進学、目指す就職先、部活動での各大会出場など、個々に目的意識がある生徒は、主体的に学ぼうとする姿が現れてくるようです。これは、高校生に限らず、中学生も同じです。高校進学のための目的や動機を持つことで、中学校生活も意欲的なものになるのです。3年生に限らず、1、2年生にも進学への希望や夢を持てるように指導をしていきたいと思っています。



主体的に学ぶ生徒たちの様子(左：技術 非常用ラジオ製作 中央：保体 卓球 右：家庭 調理実習)

〈高等学校教育の目的・目標〉(文科省)

1 高等学校は、中学校における教育の基礎の上に、心身の発達及び進路に応じて、高度な普通教育や専門教育を施すことを目的としている(学校教育法第50条)。また、その目標は、○義務教育として行われる普通教育の成果を更に発展させて、豊かな人間性、創造性及び健やかな身体を養い、国家及び社会の形成者として必要な資質を養うこと ○社会において果たさなければならない使命の自覚に基づき、個性に応じて将来の進路を決定させ、一般的な教養を高め、専門的な知識、技術及び技能を習得させること ○個性の確立に努めるとともに、社会について広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うこととされている(学校教育法第51条)。2 卒業は、大学等の高等教育機関への入学に必要な基礎資格となるとともに、様々な職業分野における資格試験において受検に必要な基礎資格となっている。3 高等学校においては、上記のような目的・目標を踏まえ、各学校における各教科・科目に関する教育活動や特別活動、総合的な学習の時間、学校外活動などを通じて、その実現を目指している。

『自分が目指す高校の特色や授業内容、取得できる資格など、十分な情報収集をしてください』

映画「二宮金次郎」鑑賞教室が延期になりました

2月13日(日)に、鹿島生涯学習センター「さくらホール」にて、映画「二宮金次郎」の鑑賞教室が予定されていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、延期となりました。そこで、鑑賞する、映画「二宮金次郎」について簡単に紹介します。石神学区には、二宮尊徳と弟子の高田高慶の墓や尊徳の子、尊行とその家族が住んでいた旧住宅跡があります。石神地区の方々にとっては、昔から二宮尊徳が身近にある地域の文化遺産なのです。今回、南相馬市教育委員会より、映画「二宮金次郎」の鑑賞教室の機会をいただき、全校生徒で鑑賞することとなりました。

＜映画について＞ 五十嵐匠監督の映画「二宮金次郎」は、約200年前、600以上の村を復興するという大事業を成し遂げた二宮金次郎の生き様を描いた作品です。二宮金次郎は、



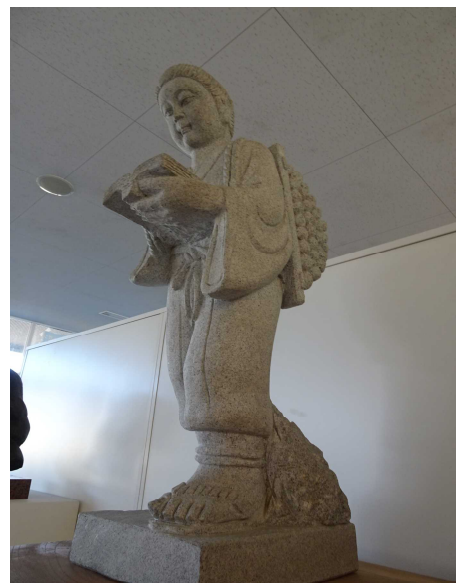
これまでの封建社会の枠組みを覆

すような独特のやり方で荒廃した村々を、次々と復興させていきます。その数、600以上になります。映画「二宮金次郎」は、貧しさと必死に戦う少年金次郎の姿を交えながら、青年時代、復興に賭ける輝ける二宮尊徳の激動の生涯をドラマチックに映画化したものです。

＜製作＞ 映画「二宮金次郎」製作委員会

【原作】三戸岡道夫 【監督】五十嵐匠 【脚本】柏田道夫

【キャスト】合田雅吏、田中美里、成田湊、犬山ヴィーノ、長谷川稀世、山口馬木也、綿引勝彦、渡辺いつけい、石丸謙二郎、榎木孝明、柳沢慎吾、田中泯、安藤海琴、菊地麻衣、松本実、岩瀬晶子、竹内まなぶ、石田たくみ ほか



本校の二宮金次郎像(西昇降口)

二宮尊徳「二宮金次郎」とは：二宮 尊徳（にのみや そんとく）は、江戸時代後期の経世家、農政家、思想家である。自筆文書では金治郎（きんじろう）と署名している例が多いが、一般には「金次郎」と表記されることが多い。また、諱（いみな）の「尊徳」は正確には「たかのり」と読むが、「そんとく」という読みで定着している。経世済民を目指して報徳思想を唱え、報徳仕法と呼ばれる農村復興政策を指導した。

出典：フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

＜入試情報＞ 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う入試対応について

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う様々な対策が出され、学校においても3密防止や換気、消毒、マスク着用など、感染症対応を行っています。3年生には配付されましたが、過日、福島県教育委員会高等教育課より、「令和4年度福島県立高等学校入学者選抜における新型コロナウイルス感染症への対応について」という文書が出されました。入試日に生徒が感染している場合や濃厚接触者になっている場合など、どのように対応すれば良いのかが記載されています。また、受験当日に高校に健康状態チェックリスト用紙を提出します。以前までの受験スタイルとは大きく変わり、コロナに対応した準備も求められるようになりました。生徒の皆さんには、この状況を乗り越えて、希望する高校等に進学できるようサポートしていきたいと思っております。

